

3. 情報提供ツールの画面仕様

「家電のみえーる」エアコン入力画面



番号	名称	機能
1	購入年数選択欄	購入年数を選択可能なプルダウンメニュー ・1994以前～2010年
2	冷房能力(部屋の広さ)選択欄	冷房能力を選択可能なプルダウンメニュー ・購入年数に応じて変化
3	メーカー選択欄	メーカーを選択可能なプルダウンメニュー ・年式、冷房能力に応じて変化
4	型番選択欄	型番を選択可能なプルダウンメニュー ・年式、冷房能力、メーカーに応じて変化
5	冷房平均使用時間選択欄	冷房の平均使用時間を入力 ・0～12時間以上の選択肢
6	暖房平均使用時間選択欄	暖房の平均使用時間を入力 ・0～12時間以上の選択肢

3. 情報提供ツールの画面仕様

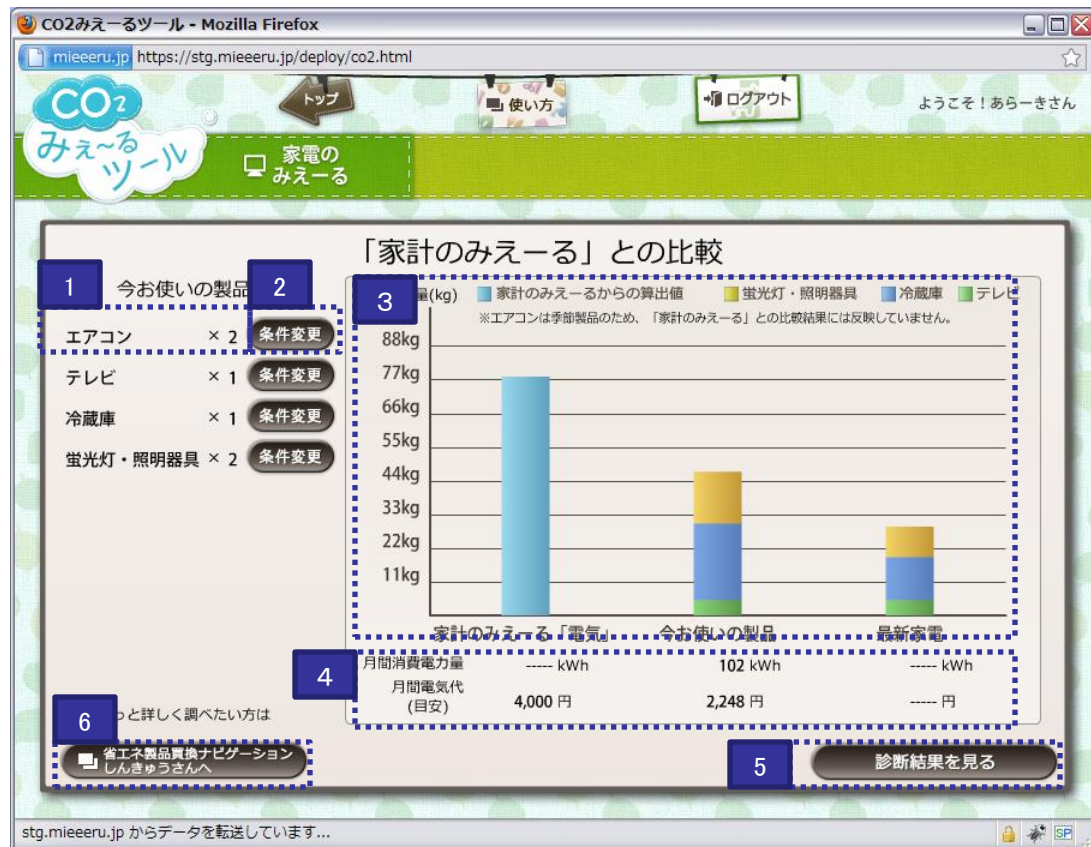
「家電のみえーる」診断結果画面



番号	名称	機能
1	入力機器済み機器表示欄	各製品ごとに入力した機器数
2	「条件変更」ボタン	支出の合計値を表示するフィールド
3	グラフ表示エリア	各機器ごとのCO2排出量を棒グラフで表示
4	年間消費電力量、年間電気代の表示欄	各機器の電力量(kWh)と電気代(円)を表示
5	「家計のみえーる結果と比較」ボタン	家計のみえーる結果の画面へ

3. 情報提供ツールの画面仕様

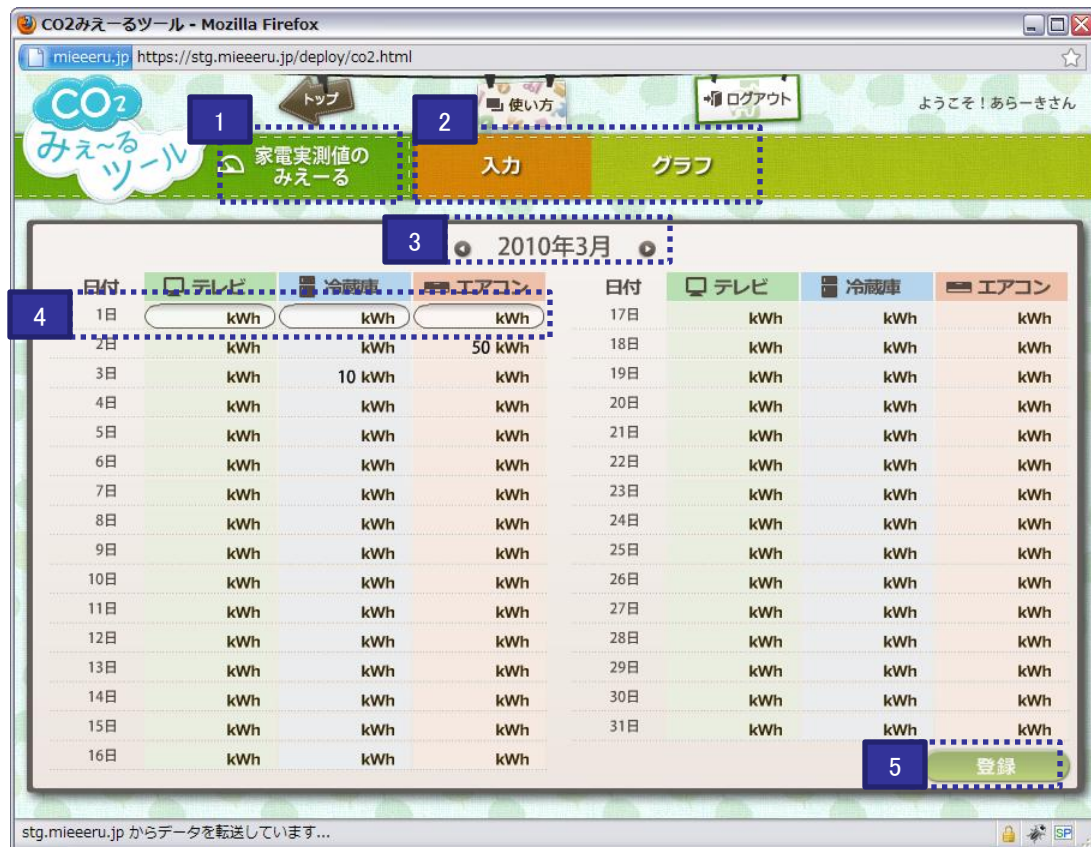
「家電のみえーる」家計のみえーる結果と比較画面



番号	名称	機能
1	入力機器済み機器表示欄	各製品ごとに入力した機器数
2	「条件変更」ボタン	支出の合計値を表示するフィールド
3	グラフ表示エリア	当月の家計のみえーるで入力した電気代の今お使いの製品と、最新家電のCO2排出量を比較したグラフ
4	月間消費電力量、月間電気代の表示欄	各機器の電力量(kWh)と電気代(円)を表示
5	「診断結果を見る」ボタン	診断結果の画面へ
6	しんきゅうさんへのリンク	別ウインドウで「しんきゅうさん」を表示

3. 情報提供ツールの画面仕様

「家電実測値のみえーる」入力画面



番号	名称	機能
1	家電実測値のみえーる	アクティブ状態の表示
2	家電実測値のみえーるサブメニュー	「入力」 →入力画面へ 「グラフ」 →グラフ画面へ
3	年月表示&切替エリア	年月を表示 矢印で前月次月を切り替え
4	電力量入力フィールド	各機器の電力量を入力するフィールド
5	「登録」ボタン	入力した月の使用電力量を登録

3. 情報提供ツールの画面仕様

「家電実測値のみえーる」グラフ画面（月別）



番号	名称	機能
1	期間選択欄	グラフの期間を選択 ・月別/日別
2	家電選択欄	表示する家電を選択 ・エアコン/TV/冷蔵庫
3	年度表示&切替エリア	年度を表示、切替可能
4	グラフ表示エリア	入力された電力量から算出されたCO2排出量を積み上げグラフで表示
5	実数表示エリア	入力された電力量から算出されたCO2排出量を実数表示

3. 情報提供ツールの画面仕様

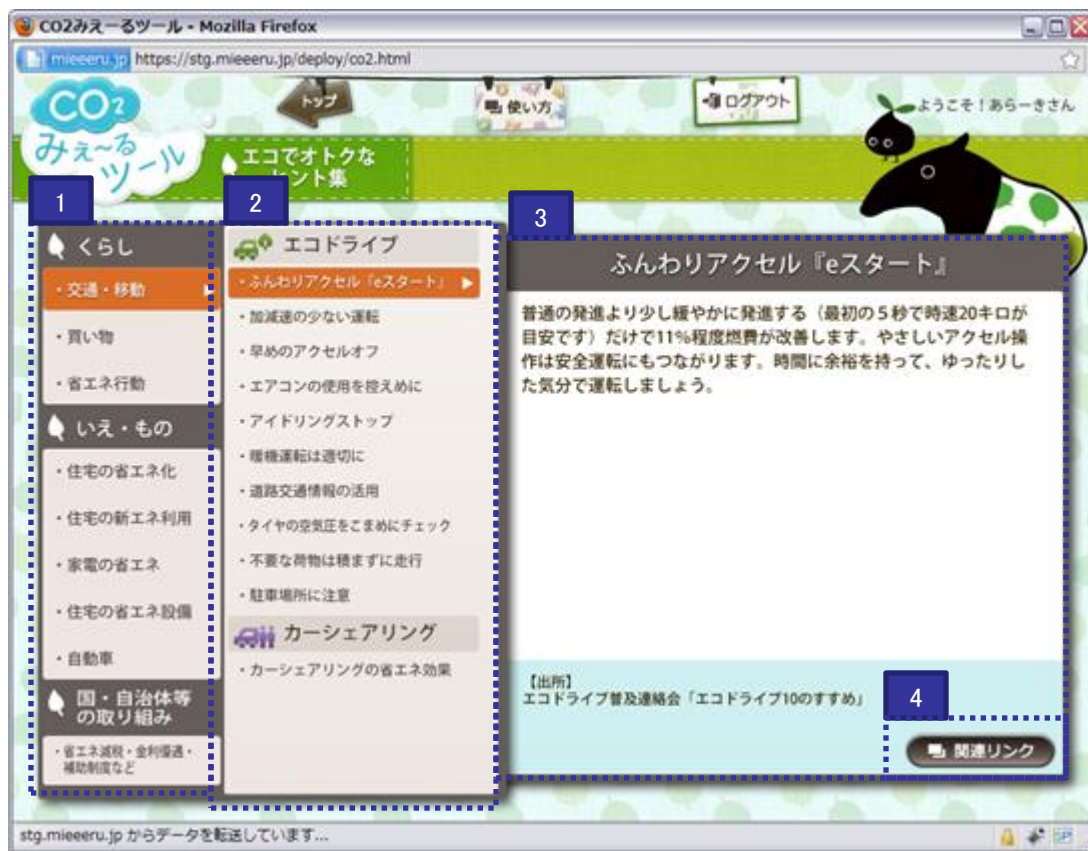
「家電実測値のみえーる」グラフ画面（日別）



番号	名称	機能
1	期間選択欄	グラフの期間を選択 ・月別/日別
2	家電選択欄	表示する家電を選択 ・エアコン/TV/冷蔵庫
3	年月表示&切替 エリア	年月を表示、切替可能
4	グラフ表示エリア	入力された電力量から算出された CO2排出量を積み上げグラフで表示
5	日付切替ボタン	表示されている月の前半/ 後半を切替
6	実数表示エリア	入力された電力量から算出された CO2排出量を実数表示
7	合計値表示エリア	当月の排出量の合計値を 表示

3. 情報提供ツールの画面仕様

「エコでオトクなヒント集」 ヒント選択画面



番号	名称	機能
1	大分類、中分類表示選択エリア	中分類を選択
2	小分類、項目名表示選択エリア	選択された中分類に基づいて表示内容が変化
3	詳細表示エリア	選択された項目に応じて変化
4	「関連リンク」ボタン	別ウインドウで該当する関連リンクを表示

3. 情報提供ツールの画面仕様

「見える化って何？」目次画面



番号	名称	機能
1	「記事リンク」ボタン	タイトルに対応した記事内容へのリンク

3. 情報提供ツールの画面仕様

「見える化って何？」記事画面

見える化ツール

1

目次へ戻る

家庭部門でCO₂の排出を減らすのはなぜ?

「二酸化炭素濃度」と「観測気温」は年々上昇している！
一人あたりのCO₂排出量は年々増加している！

部門別CO₂排出量の推移

「エネルギー消費」と「CO₂排出量」

CO₂見える化って何?

家庭部門でCO₂の排出を減らすのはなぜ?

1 「二酸化炭素濃度」と「観測気温」は年々に上昇している！

地球の気候は様々な要因により影響を受けて変化しますが、近年、主に人間の活動によって排出されるCO₂などの温室効果ガスにより、年々気温が上昇しています。IPCC第4次評価報告書によれば、世界の年平均地上気温は100年当たり0.74℃の割合で上昇しています。

世界の年平均地上気温の年々変化

出所：環境省「図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書 平成21年版 [HTML版]」(平成21年6月)

2

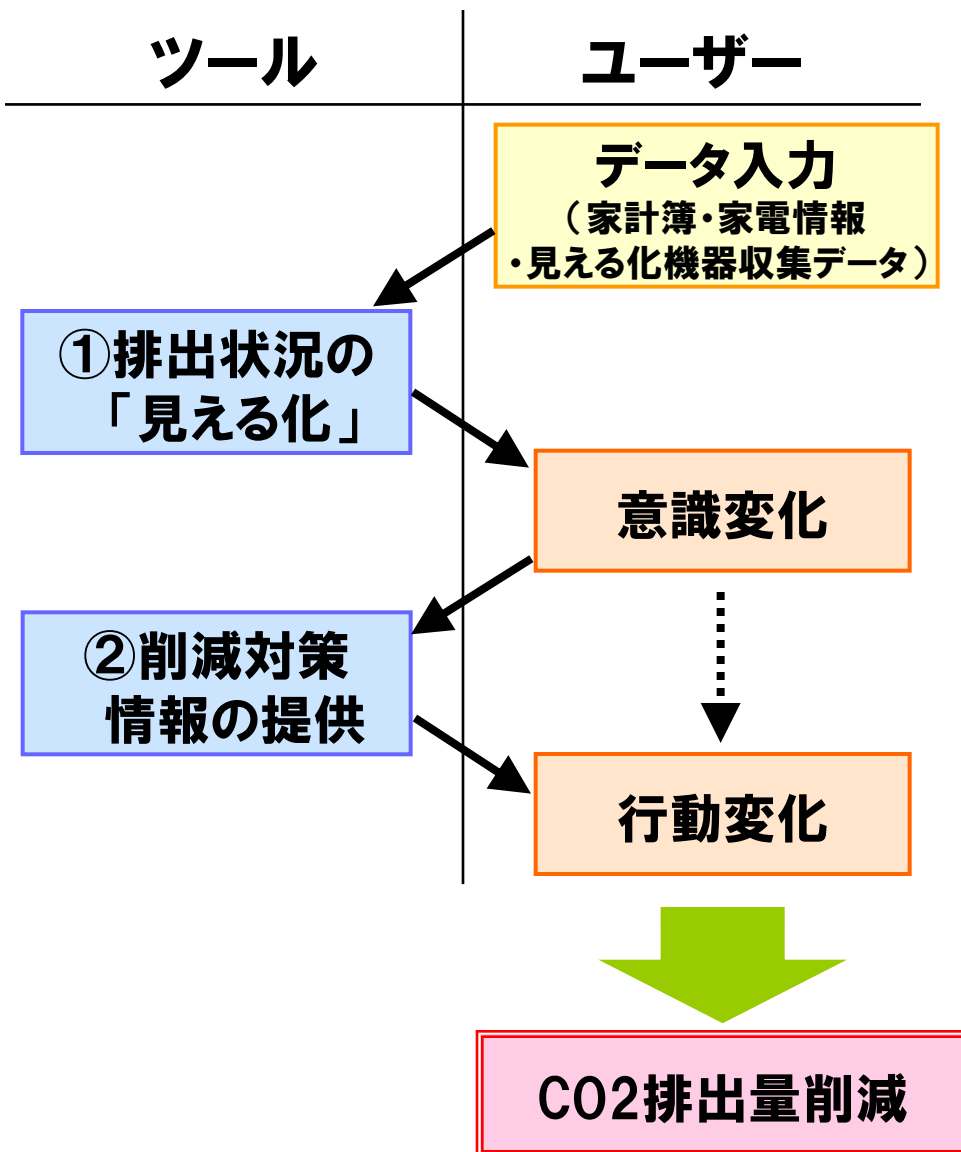
くわしく知りたい場合はコチラ<関連リンク>

- ・(独)国立環境研究所「環境科学解説:地球温暖化 第1部『地球温暖化とは?』」
- ・(独)国立環境研究所 地球環境研究センター「CGER ココが知りたい温暖化」

番号	名称	機能
1	「目次リンク」ボタン	目次へのリンクと、ページ内の各記事へのリンク
2	「関連リンク」ボタン	別ウインドウで該当する関連リンクを表示

4. 家庭における「見える化」の整理

「見える化」によるCO2削減イメージ



①排出状況の「見える化」

- CO₂排出状況を定量的に可視化することで、ユーザーに気づきを与え、意識変化を促す。

<ツール内で対応する機能>

- 「家計のみえーる」
- 「家電のみえーる」
- 「家電実測値のみえーる」

②削減対策情報の提供

- 意識変化したユーザーに具体的な削減行動の方法を情報提供し、行動変化を促す。

<ツール内で対応する機能>

- 「くらしのみえーる」
- 「家電のみえーる」(最新家電との比較)
- 「エコでオトクなヒント集」

4. 家庭における「見える化」の整理

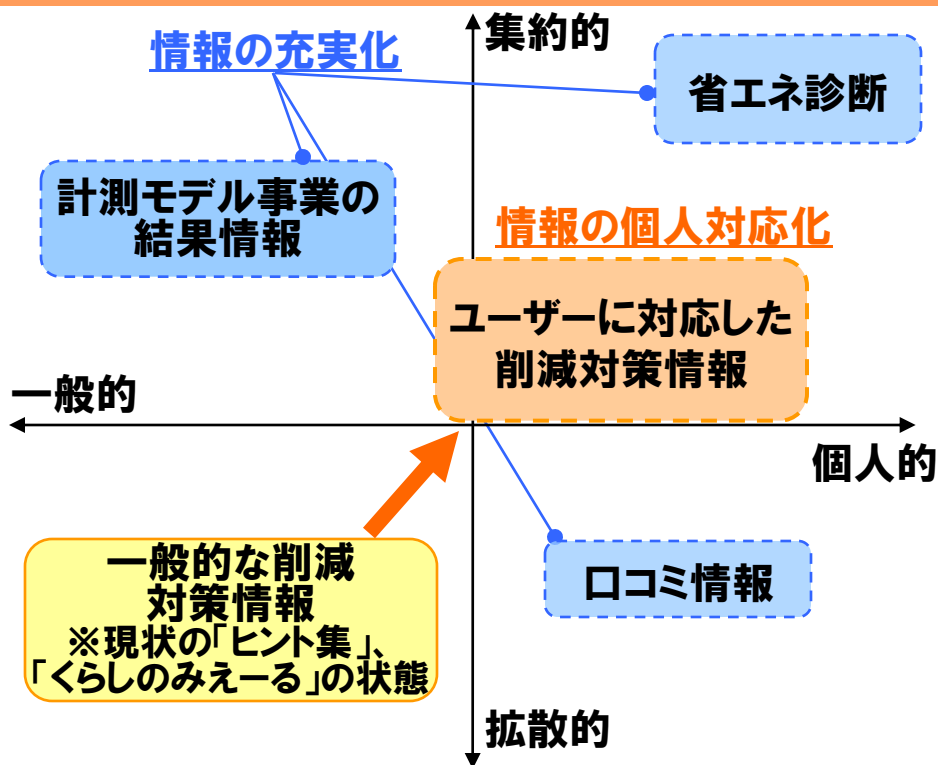
① 排出状況を「見える化」する情報の種類

情報の種類	具体的な内容	与える意識変化	ツール機能		
			家計	家電	家電実測値
総量 (基本データ)	C02排出量の総量	(絶対量単独では解釈できない)	○	○	○
	エネルギー消費量の総量	(絶対量単独では解釈できない)	○	○	-
	C02排出量に対応する金額	・排出量を金額との対応で自覚できる	○	○	×
構成比	総排出量に占める、エネルギーと商品・サービスの構成比	・エネルギーだけがC02排出に寄与するわけではないことに気付く	○	-	-
	電気消費量に占める、家電機器ごとのシェア	・使用している家電のうち、特に大きくエネルギーを消費している機器に気付く	-	○	○
時系列比較	日別の推移	・行動を変化させたことによる影響を実感できるようになる	-	-	○
	月別の推移	・排出量変化に気付く結果、変化要因を考えるようになる	○	-	○
	前年同月比との比較	・前年同月比との差異から変化要因を考えるようになる	○	-	×
他者と比較	類似世帯の中でのランキング	・他世帯との比較により、相対的な自分の位置を認識することで、削減モチベーションが高まる	○	×	×
	類似世帯の平均との比較		○	×	×

凡例) ○:見える化あり -:見える化なし(不要) ×:見える化なし(見える化有効)

4. 家庭における「見える化」の整理

②提供すべき削減対策情報の方向性



- ・ 現状の一般的な削減対策情報から、**より個人に対応した情報の提供**
- ・ 加えて、ロコミやモデル事業の結果、省エネ診断員の紹介による**情報の充実化**

②削減対策情報の整理

1)一般的な削減対策情報

- ・ 不特定多数を対象として提供する削減対策情報
- ・ 現状の「暮らしのみえーる」「ヒント集」
- ・ 情報量が多くなり、該当しない項目も含まれてしまう

2)ユーザーに対応した削減対策情報

- ・ 地域や建て方など、世帯の属性に応じた情報を提供 (ex.属性情報から該当するヒントのみを表示する)
- ・ 「見える化」した結果から自動判別してアドバイス提供 (ex.ガス消費量が類似世帯より多い→ガス消費量削減メニューを提供など)

3)ロコミ情報

- ・ ユーザー同士による削減行動の共有
- ・ 似たような状況のユーザーの削減行動を手本にできる

4)計測モデル事業の結果情報

- ・ 「見える化」することによる削減効果などの結果を提供

5)専門家等による省エネ診断

- ・ ユーザー固有の状況に応じた削減対策情報の提供
- ・ 自動的フィードバックを超えたコンサルティングが求められ、幅広い専門性が必要

5. 今後の課題

【機能の拡張】

①「見える化」のための情報入力の特易化

- 「家計のみ見える」の特易化：プルダウンメニューで大まかな金額の入力など
- 「家電実測値のみ見える」の特易化：省エネナビ等、計測器との連携の検討
- 「家電のみ見える」の特易化：家電情報の入力方法の見直しなど

②削減対策方法の情報提供の高度化

- 世帯情報や排出状況を元に、個人対応された情報の提供
- 口コミ情報、モデル事業の実験結果等をツールに反映し、情報を充実化

【ユーザーの拡大・継続利用の促進】

- 環境関連のポータルサイトなどへの 出稿によるツールへの集客
- 継続インセンティブ(ポイント等)の付与
- 目標設定機能へ努力してもらえらる仕組みなどの追加

【ツールを使うことによる削減効果の検証】

- ツール使用による意識変化、行動変化状況の調査
- 効果的な機能に特化した情報提供方法の検討